

2026年 市民要望アンケートの調査結果について

2026年7月

日本共産党千葉市議会議員団

千葉市の2027年度予算編成に市民の声や要望を反映させるため、日本共産党千葉市議団は、「市民要望アンケート」を4月から6月末まで実施し、1,174通の回答をお寄せいただきました。ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。皆様からのご意見・ご要望は、千葉市の予算編成の際に、極力反映させ要望が実現できるよう取り組んでまいります。

ロシアのウクライナ侵攻、アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃など、国連憲章を無視した「力による支配」が幅を利かす混沌とした世界情勢のもとで、輸入に多くを頼る日本は、資材不足や物価高騰など深刻な影響を受けています。

今回のアンケートでも、物価高による経済的困難さや苦勞などが語られ、「何を節約すればいいのか」「もう限界」など、悲痛な声が怒りとともに寄せられています。

「多少給料が上がっても、とても追いつかない。なんのために働いているのか」「贅沢はしていないのに、どんどん苦しくなる」「税金や公共料金を容赦なく上げるのはなぜだ」など、市民生活を顧みない政治・行政への不信が強く表れていました。「生きるうえで不可欠な食料品の減税を」「貧困者からも取り上げる消費税はなくせ」など回答者の74%が、「とにかく消費税の減税を」と求めており、現在の苦しい暮らしぶりがうかがえました。

「不安に感じていることは？」の問いで多かったのは、1位が「お米・食料品・生活必需品の値上げ」、2位は「国保・介護保険料、医療費負担が重い」、3位が「光熱費・上下水道料が高い」となっています。収入が増えない中で、物価高と各種負担増への対応策が求められています。

同時に、市民の暮らしが大変なとき、「強い国づくり」に熱中する政府に対しても「戦争にならないか、憲法・平和が心配」との不安も強めています。

「千葉市に望むこと」では、「物価高騰対策」が1位で、2位が「介護・福祉の充実」、3位が「災害対策」となっていました。

日本共産党市議団は、「市政要望アンケート」で寄せられた多くの声を、国・県・千葉市に届けて実現・改善を求めてまいります。

また、地域の生活環境問題などで、「危険な交差点の改善」や「公園の整備」など、地図や写真を添付して具体的にご要望をいただいております。党市議団は現地調査を行うなど住民の皆様のご協力も得ながら、解決・改善に向けて取り組みを強めてまいります。

さらに、今回のアンケートを「2027年度予算及び事業計画にあたっての重点要望」「各行政区の要望」としてまとめ、神谷市長へ提出するとともに、議会での質問や要請行動等を通じて、実現をめざしてまいります。今後とも、日本共産党千葉市議団へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

以上